



かつらぎ山系の開発と紀の川の利用

農業問題に意見集中!!

方向を考えて行こうーという「動く県庁」(第四回県政広聴会)が、十月三十日、那賀郡打田町打田中学校で開かれました。当日のもようを、ご都合で傍聴できなかつた那賀地方の方々に、県民の友特集号でお知らせいたします。

「動く県庁」も、ここに四回ばかりです。四十二年、大橋知事が就任以来、「農民の立場だった県政」をすめる一環として、文字どおり、県庁が現地に移動して、県民の声、切実な懇願をじとじと吸収し、県政の上に反映させていこうという催しです。

第一回は、新宮、東牟婁地方、第二回は、橋本、伊都地方、第三回は、田辺、西牟婁地方で開催。そして、今回は、「手をつないで築く豊かな郷土」をテーマに、那賀地方で開催しました。

農業期のまつた中であるにかかわらず、政治的関心の高い土地柄であって、会場に当てられた打田中学校体育館は、午前九時半の開会前に早くも手一百人余の参会者で超満員。「大橋知事の話っぷりを」「わが町の発言者の発言いかに」と、メモを片手に参会者の動き県庁による期待で、会場の寒氣も吹き飛ぶむせかえらん



特性を生かして

那賀地方の発展を

和歌山県知事
正雄
大橋

経済と文化と
福祉の調和
世界第三位といわれるほど日本経済はめまとい發展を示していますが、それは、大企業を中心としたものであり、第一次産業や中小企業との間に格差ひびきが生じていることも事実です。七十年代は、内政充実の年といわれ、これまで余の恵まれなかつた地域、回観民文化祭の開催、また、紀伊風土記の丘の来春完成、文化不施設、成績もさることながら、あ

黒潮国体にも深い関心

民泊・道路整備など

午前十時から、粉河町の中谷等

開会前に早くも手一百人余の参会者で超満員。「大橋知事の話っぷりを」「わが町の発言者の発言いかに」と、メモを片手に参会者の動き県庁による期待で、会場の寒氣も吹き飛びむせかえらん

美子さん(46)を先頭に、十二人

さん(63)ら五人の自由発言があ

かわらず、政治的関心の高い土地柄であって、会場に当てられた打田中学校体育館は、午前九時半の(21)は、「振興山村の指定と道

の盛んな拍手を浴びました。

また、十二人の発言者の発言の

内容は、会場から打田町の鶴田俊夫

さん(63)ら五人の自由発言があ

かわらず、政治的関心の高い土地

柄であって、会場に当てられた打

田中学校体育館は、午前九時半の

(21)は、「振興山村の指定と道

の盛んな拍手を浴びました。

また、十二人の発言者の発言の

内容は、会場から打田町の鶴田俊夫

さん(63)ら五人の自由発言があ

</

